創エネ・省エネ設備の設置

太陽光補助対象出力
上限なし

家庭と地球の未来のために。今こそ創エネ・省エネ！

例えば，太陽光発電システム（4 kW）を設置すると年間で…

- およそ9万円（売電6万円，電気代削減3万円）を節約できます！
- 家庭での電力消費から排出される二酸化炭素の 約88％ を削減できます！

注）年間発電量 4,000 kWh で発電した場合の本市試算

太陽光発電システム，蓄電システムは，災害等での停電時に非常用電源にもなります。

すまいの創エネ・省エネ応援事業

詳細は，京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

対象者　京都市内の
・戸建住宅の所有者又は居住者　・賃貸マンションの居住者又は所有者
・分譲マンションの管理組合又は区分所有者　・集会所に設置する自治会

申請期間　令和2年4月10日（金）から予算額に達した時点で受付終了

注）創エネ・省エネ設備の設置助成については交付申請の終了日を定めていませんが，実績報告書を令和３年３月15日（月）までに提出する必要があります。

手続の流れ

step1 景観手続の要否確認 → step2 工事契約（令和2年4月1日以降） → step3 交付申請 → step4 工事着工・完了 → step5 実績報告（設置日から60日以内）

契約後，すみやかに交付申請を！

完了後，すみやかに実績報告を！

工事対象メニュー

対象設備	補助金額		工事価格の目安（税込，本市試算）
太陽光発電システム 全量売電は対象外（エネファームを同時に設置する場合，4万円／件加算）	最大出力 1kW 当たり 2万円（上限なし）		およそ126万円（4 kW 設置時）
太陽熱利用システムと同時に設置する場合 省エネ・耐震リフォームと同時に行う場合	最大出力 1kW 当たり 4万円（上限なし）		
蓄電システムと同時に設置する場合	最大出力 1kW 当たり 4万円（上限なし）（4kW まで最大出力 1kW 当たりさらに1万円加算※1）		
蓄電システム 太陽光発電システムと同時に設置する場合のみ	蓄電容量 1kWh 当たり 3万円（上限 6kWh）※1		およそ120万円（6 kWh 設置時）
HEMS（ヘムス）（家庭用エネルギーマネジメントシステム）	2万円		およそ 13万円
太陽熱利用システム	強制循環型 10万円※2	自然循環型 5万円※2	およそ110万円（強制循環，集熱面積 4 m^2）

※1 京都市が令和2年4月以降に発表する予算と期間を超えない範囲で補助又は加算する。
※2 補助対象の太陽光発電システムと同時に申請する場合，補助金額を3倍に増額。省エネ・耐震リフォームと同時に行う場合，補助金額を2倍に増額
注）賃貸マンションの共有部分に使用する場合や分譲マンションの管理組合，集会所に設置する自治会の場合の補助金額や上限は，お問い合わせください。

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています
（既存住宅の省エネリフォーム支援事業，すまいの創エネ・省エネ応援事業）

京都宣言　環境と調和した持続可能な社会を目指して

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

発行：京都市環境政策局地球温暖化対策室，都市計画局建築指導部建築安全推進課，住宅室住宅政策課　印刷物番号：315169 号　令和2年3月発行

古紙配合率70%再生紙を使用しています

京都市にお住まいの皆様，住まいをお持ちの皆様へ

令和2年度

すまいの補助金のご案内

これらの補助金は，合わせて利用できます！

京都市の環境マスコット エコちゃん

耐震・防火リフォーム，ブロック塀等の除却
省エネリフォーム
創エネ・省エネ設備の設置を
サポートします！

予算がなくなり次第終了します！
申請はお早めに！

耐震・防火リフォーム

木造住宅 **150万円！**（最大）

京町家はさらに補助額アップ！

→ 詳しくは，p2「耐震・防火リフォーム」へ

ブロック塀の除却

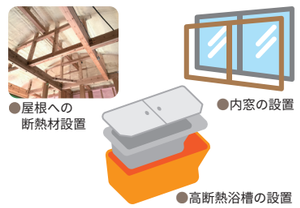
今年度から京安心すまいセンターで受付開始！

15万円！（最大）

省エネリフォーム

50万円！（最大）

窓の断熱改修や高断熱浴槽の設置など



→ 詳しくは，p3「省エネリフォーム」へ

創エネ・省エネ設備

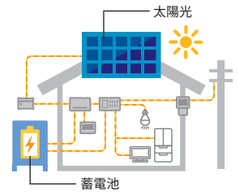
太陽光補助対象出力上限なし

●太陽光（4kW）　●蓄電（6kWh）
●HEMS　を同時に申請の場合

40万円！（活用例）

左のリフォームと同時実施で増額あり！

太陽光発電や同時設置の蓄電池など



→ 詳しくは，p4「創エネ・省エネ設備の設置」へ

ご相談はこちらまで，お気軽に！

京（みやこ）安心すまいセンター
耐震・エコ助成ホットライン
☎075-744-1631

〈申請窓口〉〒604-8186 京都市中京区烏丸御池東南角アーバネックス御池ビル西館４階
〈開館時間〉午前9時30分～午後5時（水曜日，祝日，年末年始（12月29日～1月3日）を除く）
〈申請受付時間〉午前9時30分～午前11時30分，午後1時～午後4時30分

「京安心すまいセンター」で検索

●市営地下鉄「烏丸御池」駅 3番出口すぐ

京都市 CITY OF KYOTO　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

耐震・防火リフォーム

補助金 木造住宅 最大150万円！
京町家は更に補助額アップ

できるところからすまいの耐震化を！

阪神・淡路大震災における死亡原因の 8 割以上が，**建物や家具の倒壊**における窒息死・圧死でした。
リフォームに併せて，できるところから**すまいの耐震化**を行いましょう！

まちの匠の知恵を活かした京都型耐震･防火リフォーム支援事業

≪本事業は宿泊税を活用しています。≫

申請対象　市内の昭和56年5月31日以前に新築工事に着工された木造住宅（一戸建ての住宅，長屋又は共同住宅）の所有者又は居住者（予定を含む。）

注）市内業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります（「本格的な耐震改修」及び簡易な耐震改修」の「耐震シェルターの設置」を除く）。
注）併用住宅の場合は，居住部分の床面積が延べ面積の1／2以上のものが対象です。

申請期間　交付申請　令和2年4月10日（金）～令和3年3月1日（月）必着

注）実績報告書を令和3年3月15日（月）までに提出する必要があります。　注）予算額に達した場合は期間内でも受付を終了します。

手続の流れ

step1 交付申請 → step2 工事契約・着工 → step3 工事完了 → step4 実績報告・補助金請求

工事対象メニュー

耐震改修（メニュー①～③はいずれか一つを利用できます。）

	メニュー番号		木造住宅 工事内容	耐震診断･耐震改修設計(※3)	補助限度額			京町家等 工事内容	耐震診断･耐震改修設計(※3)	補助限度額	
本格的な耐震改修（※1）	①		現在の耐震基準に適合する工事	○	100万円			現在の耐震基準に適合する工事	○	120～300万円（※4,5）	
	②		一定以上の耐震性能を確保する工事	○	50万円			一定以上の耐震性能を確保する工事	○	60万円	
簡易な耐震改修（※2）	③	（ア）（※6）	壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	○	30万円	（ア）～（オ）を組み合わせて50万円	（ア）（※6）	壁の設置や屋根の軽量化により耐震性能が従前よりも向上する工事	○	30万円	（ア）～（キ）を組み合わせて60万円
			屋根の軽量化(耐震診断なし)	－	20万円			屋根の軽量化(耐震診断なし)	－	20万円	
		（イ）	屋根構面等の水平構面の強化	－	10万円		（イ）	屋根構面等の水平構面の強化	－	10万円	
		（ウ）	根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	－	20万円		（ウ）	根継ぎ等による土台又は柱等の劣化修繕	－	20万円	
		（エ）	有筋の基礎の増設	－	15万円		（エ）	礎石等の基礎の補修	－	20万円	
		（オ）	耐震シェルターの設置	－	30万円		（オ）	土壁の修繕	－	40万円	
							（カ）	柱脚部への足固め,根がらみの設置	－	10万円	
							（キ）	耐震シェルターの設置	－	30万円	

防火改修

	メニュー番号		工事の内容	補助限度額	
防火改修（※2）	④	（ア）	軒裏の防火改修工事	20万円	組み合わせて50万円（京町家等は，60万円）
		（イ）	開口部の防火改修工事	1.5万円/㎡	
		（ウ）	長屋の界壁の防火改修工事	20万円	
		（エ）	外壁の防火改修工事	20万円	
		（オ）	感震ブレーカーの設置工事	5万円	

「防火改修」は密集市街地を中心とした市が定める区域が助成対象です。（詳しい区域は，本事業のホームページをご覧いただくか，窓口にお問い合わせください。）

※1　長屋及び共同住宅の場合，住戸ごとに補助限度額を適用します（一棟当たりの上限有り）。
※2　長屋の場合，住戸ごとに補助限度額を適用します（一棟当たりの上限有り）。
※3　「○」がついているメニューは耐震診断が必要です。また，耐震性能の向上を確認するため，工事前後で耐震診断を行う必要があります。
※4　延べ面積が120 ㎡を超えるものは，補助限度額を超過部分1㎡あたり1万円引き上げます（引き上げ後最大300 万円）。
※5　景観重要建造物等は40 万円加算。
※6　（ア）はいずれかのメニューのみ利用できます。

民間ブロック塀等の除却促進事業　最大15万円！

過去の大地震では，ブロック塀の倒壊による死亡事故が発生しています。
京都市では，道や公園等に面したブロック塀の除却に対し補助があります！
補助制度を活用し，ブロック塀の安全対策をしましょう！
補助率：2/3，補助金額：最大15万円

※　申請期間及び手続の流れは「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震・防火リフォーム支援事業」に同じ。

省エネリフォーム

補助金 最大50万円！

省エネリフォームは家計にも健康にもやさしい！

住宅の消費エネルギーを削減し，環境にやさしい省エネリフォームは，「光熱費の削減」につながります！

例：窓を全て二重窓にした場合，10 年間で光熱費を**約20万円（2万円**/年）も削減！※
※ 120 ㎡程度の木造一戸建ての住宅を想定した市の試算による。

また，室内の温度差を小さくすると，ヒートショックの発生を抑えることができます！
※ヒートショックとは，急激な温度変化により血圧が急変する現象を指し，心筋梗塞や脳卒中を引き起こす原因となります。

既存住宅の省エネリフォーム支援事業

詳細は，京都市情報館内の本事業のホームページをご覧ください。

申請対象　市内の住宅（一戸建ての住宅，長屋，マンション，アパート等の住戸部分）の所有者又は居住者（予定を含む。）

注）市内業者が元請負人又は下請負人として補助対象工事を施工する必要があります。
注）併用住宅の場合は，居住部分の床面積が延べ面積の1／2以上のものが対象です。

申請期間　令和2年4月10日（金）～令和3年3月15日（月）必着

注）原則として，実績報告書を令和3年3月15日（月）までに提出する必要があります。　期限に間に合わない場合は，窓口までご相談ください。
注）予算額に達した場合は期間内でも受付を終了します。

手続の流れ

step1 交付申請 → step2 工事契約・着工 → step3 工事完了 → step4 実績報告・補助金請求

工事対象メニュー

	補助金額（最大）	対象工事	補助金額（最大）
窓の断熱改修（内窓設置，外窓交換）	1万8千円/ 箇所	窓の断熱改修（ガラス交換）	7千円/ 枚
外壁への断熱材設置 ※1	10万円/ 式	屋根への断熱材設置	10万円/ 式
床への断熱材設置 ※2	5万円/ 式	天井への断熱材設置	3万円/ 式
ドアへの断熱改修	3万円/ 箇所	高断熱浴槽の設置	2万円/ 式
屋根・外壁の遮熱塗装等	各 3万円/ 式	内装断熱パネルの設置（壁，床，天井）	各 5万円/ 式
窓の遮熱フィルム又は遮熱塗装	2千円/ 枚	庇の設置	8千円/ 箇所
内装の左官工事（オプション工事）※3	2万円/ 式	浴室の断熱化（オプション工事）※4	1万円/ 式

※1　外部から土壁に断熱材を設置する場合は，最大20 万円／式となります。
※2　一定の断熱性能を持つ畳について補助の対象になる場合がありますので，窓口までご相談ください。
※3　オプション工事のみでは補助の対象になりません。ほかのメニューと併せて申請してください。
※4　浴室において，高断熱浴槽の設置に併せて窓の断熱改修を申請する場合，1万円加算します。

利用者の声　～省エネリフォームにより，多くの方が快適になったと感じています。～

- 窓を二重にしたことで冬場の寒さがだんぜん違います。長時間暖かさが持続すると思いました。
- 床や壁に断熱材を入れたおかげで，古い家でも暑さ，寒さが厳しくなく快適に過ごせています。
- 結露や騒音も少なくなりました。
- 以前の住宅よりも電気代が安くなりました。

すまいに関して相談したいこと・知りたいことはありませんか？

補助金以外のすまいのご相談

京安心すまいセンターでは，補助金の相談･受付のほかに
すまいに関するご相談に対するアドバイスや情報提供を行っています。
より専門的なサポートが必要な場合は，「専門相談」や「専門家団体の相談窓口」もご案内します。

☎ 075-744-1670　〈受付時間〉午前9時30分～午後5時（水曜日，祝日，年末年始除く）

京安心すまいセンター

よくある相談例
- 隣の解体工事の影響で自宅の外壁が傷ついた
- 分譲マンションの大規模修繕の進め方がわからない
- 隣との境界塀が古くなり危険な状態だが，どちらが修繕すべきかわからない